

Course number	U-LAS70 10001 SJ50				
Course title (and course title in English)	ILASセミナー：身のまわりの生活から探求する文化人類学入門 ILAS Seminar : Introduction to Everyday Anthropology	Instructor's name, job title, and department of affiliation	Institute for Research in Humanities Associate Professor, SAKAI TOMOKO		
Group	Seminars in Liberal Arts and Sciences	Number of credits	2	Number of weekly time blocks	1
Class style	seminar (Face-to-face course)	Year/semesters	2024・First semester	Quota (Freshman)	9 (9)
Target year	Mainly 1st year students	Eligible students	For all majors	Days and periods	Mon.5
Classroom	Seminar room 2 (room 102), Institute for Research in Humanities Main Bldg. (Main Campus)			Language of instruction	Japanese
Keyword	人類学 / 生活 / 学術エッセイ執筆				
[Overview and purpose of the course]					
<p>自分自身の身近な日常生活の身体的な側面や、そこにおける空間やモノとの関わりについて考える。それを通じて、人の日常生活がいかにか形成され、そこにどのような社会的な力がはたらいており、どのような社会的なしくみや構造の上に成り立っているのかを、批判的にみる目を養う。</p> <p>「汚穢」「乱れ」「おぞましい」などのキーワードをテーマに編まれた学術エッセイ集を最初の手がかりとし、参考文献の購読もまじえながら、自身の生活を分析題材とする方法を実践的に学んでいく。</p> <p>授業の最後には各自が生活を題材とした学術エッセイ（＝期末レポート）を仕上げ提出・共有する。</p>					
[Course objectives]					
<p>1) 文化・社会人類学の基礎的なアプローチを理解し、テキストの内容を正確に要約できるようになる。</p> <p>2) 身近で具体的な事例を詳細にわかりやすく記述するとともに、それを抽象度の高い理論的なまなざしと組み合わせる文章を書く力を身につける。</p> <p>3) 他の受講者の発表や文章に関心を持って聞き、読み、その内容について踏み込んだ議論をする力を身につける。</p>					
[Course schedule and contents]					
<p>(1) イントロダクション</p> <p>(2) 汚穢と生活という問題系</p> <p>(3) - (5) テキストに関する個別発表</p> <p>(6) - (7) 日常生活を学術的にみるための参考テキスト購読（人類学）</p> <p>(8) - (9) 日常生活を学術的にみるための参考テキスト購読（歴史学）</p> <p>(10) - (11) 日常生活を学術的にみるための参考テキスト購読（地理学）</p> <p>(12) - (14) 生活に関わる学術エッセイ文章の構想発表</p> <p>(15) フィードバック</p>					
Continue to ILASセミナー：身のまわりの生活から探求する文化人類学入門(2)					

ILASセミナー：身のまわりの生活から探求する文化人類学入門(2)

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

個別発表：40%
期末レポート（エッセイ）：40%
授業中の議論への参加：20%

[Textbooks]

酒井朋子・奥田太郎・中村沙絵・福永真弓編 『汚穢のリズム 日常の感覚をめぐるエッセイと対話』（左右社、近刊）

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

自分自身の毎日のふるまいや行いを、とくに身体・空間・モノ・感覚経験（知覚経験）に注意して見つめなおし、気づいたことがあれば頻繁にメモを取ったり写真など記録に撮っておいてください。

[Other information (office hours, etc.)]